

2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	工学部第 2 類
------------	----------

（１）START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

START プログラムで学んだことは、アメリカと日本の文化の違いを学ぶことができた。特にここが違うと感じたことは、講義中での生徒の発言頻度である。私が所属している工学部では、教授の講義を聞くだけで、生徒からの発言がほとんどない。START プログラムで受講した講義は、生徒からの質問や発言を頻繁に講師の方々から投げかけられていた。そのことから、学部の講義で生徒が発言できる機会が設けられている際には積極的に発言し、理解度を高めたいと感じた。ほかに学んだこととしては現地の日常会話がある。実際に現地の人たちの会話を聞いていると、非常にシンプルな言葉を使っていた印象を受けた。私の今までの英語学習は記述やリスニングだけだったため、どうしてもシンプルな言葉で英語を話す意識を持つことが難しかったため大きな発見だった。また、“entrepreneurship”についての講義において学んだことは、データサイエンスをうまく活用することの大切さを学んだ。社会経験を積んでいずれかは自分で起業しようと考えているため、今回学んだことを生かしていきたい。

（２）プログラム内容についての全体的な感想

午前中は英語と企業についての講義を受けて、午後からはサイトビジットや自由時間がとられていた。午前の講義はどちらも興味深い内容が多かった。しかし、私は理系であり、ある程度データサイエンスに興味があったため面白い内容だったが、文系の学部の生徒が今回多くプログラムに参加していたため、文系の人たちにとっては理解しがたい内容ではあったと感じた。サイトビジットも同様に工学系の研究室の見学であったため、私はとても面白いと感じたが、他の人はそうではない印象でだった。現地での生活を 10 日間ではあったが、体験してみて感じたことはすべてのものや食べ物のサイズが日本に比べて圧倒的に大きく、価格が全体的に高いという印象を受けた。日本とはまた違う食文化でハンバーガーやピザはもちろん、テキサスはメキシコに隣接していることからテキサスの文化も入り混じったメキシコ料理（Tex-Mex 料理）など様々な文化が入り混じった食事を楽しめたことはとても貴重な体験だった。

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

留学する前に、できるだけ英語学習を進めていくべきと思う。せっかく留学の機会を貰っているものにしたいと誰もが考えると思うため、英語はできるだけ学習すべき。また、筆記や単語だけの勉強より、圧倒的に会話やリスニングにフォーカスして勉強するべきだと考える。長期の留学ではないため実際にきてから練習しようと思っても、現地に滞在できる時間はすぐに無くなってしまうため、日本でできるだけ勉強しておくことで留学後に後悔する可能性が低くなると考える。ほかに留学前にやるべきこととしては現地で受ける講義の予備知識をつけておくことだと考える。私は正直のところ、試験と START プログラムの出発の時期がかなり近かったため、留学前に起業についての予備知識を学ぶ機会がほとんどなかったため、講義の内容で理解できない部分が多々あったため、そこはかなり後悔している。そのため、予備知識は絶対に身に付けておいたほうが良いと考える。現地についてからは楽しいことややりたいことが多くあると思うため、事前に計画を立てておくことべきだと考える。また自分から積極的に会話する姿勢は大切にしてほしいと思う。

2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	経済学部経済学科 2 年
------------	--------------

(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

僕はこの START プログラムを通して多くの貴重で重要な体験をし、数多くのことを学びました。抽象的な内容ばかりにはなるとは思いますが、以下に記したいと思います。留学先での生活や学習を通じて、現地の言語を自然に学ぶことができました。実際に現地で学ぶことで、生の英語を初めて聞くことが出来ましたし、実際に生の英語を初めて聞いたところ、何を言っているのかがさっぱりわかりませんでした。この経験は現地に行ってみないと実感できなかったと思うのでいい経験になったと思います。この START プログラムにより、実際に異なる文化や価値観に触れる機会が得られました。実際に、街中を歩いていても、白人、黒人、アジア人であったりと様々な人種の方が共生しているのを見受けられましたし、キャンパス内では特にインド系の方であったり、ムスリムの方であったりが多く見受けられた印象でした。このように実際に現地に行き、異文化理解が深まることで、より寛容性や柔軟性が身につくのではないかと思います。この留学、及び留学中のアクティビティを通して、現地の学生、教授、現地で住んでいる方窓とかかわりを持つこともできました。これらのネットワークは必ず今後何らかの形で活かすことになると思いますし、これを第一歩として今後も国内の方だけではなく海外の方ともどんどん交流を持っていければなと思いました。

(2) プログラム内容についての全体的な感想

プログラム内容について全体的に思ったのは、学習的な内容をしっかりと取り入れつつも僕たちが海外留学を少しでも楽しめるようにと午後に長めのフリータイムがあったり、サイトビジット、観光地訪問があったりと全体を通してテキサス及びオースティンを満喫することのできるプログラムにして下さっているなということです。ですので、プログラム内容についての全体を通しての不満や改善点といったものは一つもなく、とても充実したプログラムだと思いました。このプログラム内で行われた授業や講義は主に AI やアントレプレナーに関するものが多く、個人的にこのような分野に興味があり今回この START プログラムテキサスコースを選択させていただいたのでとても良い経験となりました。また、アクティビティやサイトビジットに関しては僕たちが楽しめるだけではなく現地の文化や現地の大事な場所を訪れるということも兼ねられており、よりテキサスやオースティンについて詳しくなれたと思います。サイトビジットに関してですが、強いて言うなら僕自身文系なのでよりビジネスや文系の学生に向けた場所を大学内で訪れることが出来ればよかったなと思いました。ですが、全体を通して僕たちが有意義にプログラムを楽しめる内容でした、ありがとうございました。

（３）今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

僕自身アドバイスをできるほどしっかりこのプログラムに参加できたとは言えませんが、普遍的かつ抽象的なことではありますが以下に気を付けておくことや意識しておいた方がいいのではないかといいことを述べさせていただきます。留学の目的を明確にし、それに向かって計画を立てることが重要だと思います。自分が何をしたいのか、何を達成したいのかを把握し、それに向かって努力することで留学の意味、効果というものもより一層上がると思うからです。留学先でのコミュニケーションは重要だと思います。留学前に現地の言語の基礎を学び、現地に到着したら積極的に現地の言語を使う機会を探すと思います。また留学先の文化や習慣を理解することは、円滑な留学生活を送るために重要だとも思います。その国の文化や慣習について学び、尊重しましょう。

留学先での交流は貴重な経験です。現地の学生や他の留学生と積極的に交流し、新しい友人やネットワークを築くことが大切だと思います。留学生活には予期せぬ出来事や挑戦が多くあります。柔軟性を持ち、状況に適応する能力を身につけるといいと思います。時間の使い方を工夫する、留学は貴重な経験ですが、時間の使い方を工夫して学業やレジャー、休息のバランスを取ることが重要だと思います。また、留学先では自己の安全を確保することが最優先だと思います。現地の法律や安全対策について理解し、適切な対策を取るといいと思います。

2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	法学部夜間主コース法政総合プログラム 3 年
------------	------------------------

- (1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

プログラムを通して積極的に物事へ挑戦する力を学びました。その経験から勉強やサークル活動などにおいて積極的に取り組むことにより自分自身が主体となり活動していくことに活かしていきたいと考えます。

- (2) プログラム内容についての全体的な感想

私はテキサス大学でビジネススキルを学び、経営感覚の視座を獲得することと英語力を伸ばし国際的な見聞を広げるという目標を掲げ、今回のプログラムに参加しました。また、プログラムを通して行動の積極性についても伸ばす契機にしたいと考えました。

テキサス大学では主に語学に関する講義と起業家精神に関する講義、そしてテキサス大学の施設見学が行われました。語学に関しては発音に関することやメールの書き方などの講義がありました。起業家精神に関する講義においては、実際にテキサス大学で研究を行っている教員の方の講義や実際に会社経営を行っている方にお話を聞くことができました。特に印象に残っている授業は AI とデータサイエンスに関する講義です。先生が積極的に生徒間でのディスカッションを実施してくださり、どんな些細な意見についてもしっかりとコメントを残してくださったので AI とデータサイエンスについて理解が深まりました。この授業を通して苦手な英語を積極的に話すことの勇気を少し持つことができたように感じました。テキサス大学の施設見学では、大学が現在力を入れている施設について見学をさせていただきました。主に理系の学問分野で利用される施設の見学でしたが、アンバサダーの生徒や先生たちがわかりやすく解説をしてくださったので、文系の私も興味をもって施設見学に臨むことができました。施設見学は見るだけでなくロボットの操縦など、実際に手に触れてみるにより、視覚だけでなく触覚的にも最先端の研究を感じることができました。テキサス大学で時間を過ごす中で講義以外でも学べるものがたくさんありました。その中で特に大きかったことは学生の専攻分野に関する熱量の大きさです。どの学生と話をしても、自分自身の専攻分野の意義や社会への貢献度合いなどの事細かに話すことができていました。少なくとも、私がかかわった学生の多くが大学で学ぶことに意味を持ち、学んだことを将来に活かすという熱意をもって学習していることを感じました。私は彼らのように現在学習していることに関して、自信をもって話すことはできません。それに授業に関しても単位を取ることに

ができれば良しといった浮ついた気持ちで大学生活を過ごしていたので、残り少ない大学生活において彼らの学習に関する姿勢を少しでも取り入れ、有意義に過ごしていきたいと決意しました。加えて英語の講義とプログラムを通して今後の生活や学習に取り入れていこうと決めた習慣を発見することができました。初回の英語の授業の先生もそうですが、広島大学のコーディネーターの方も学生の我々に今回参加するプログラムに関するモチベーションを確認してくださいました。私たちはそれを言語化し、コーディネーターの方にチャットで送信しました。その作業に関して私は何気ない些細なことだと感じていましたが、目標やモチベーションを言語化することには大きな効果がありました。驚くべきことにその作業を実施することによって、留学している間、私の頭の中に目標やモチベーションがこびりつき、私自身が今現在行っていることがそれとずれていないかという確認作業を自然に行っていることに気が付きました。それによって留学期間中はとても有意義に過ごすことができました。これは普段の日常生活や勉強、就活の時にとても役に立つ習慣になると感じました。理想の自分という目標を常に頭に浮かべ、現在の自分と理想の自分との距離を把握し少しでも近づくことができるように努力を重ねる、その姿勢を学べた気がしました。

今回のプログラムでは講義の時間以外は班の仲間たちとオースティンの街を探訪することができました。アメリカの食生活やライフスタイルを少しの間、垣間見ることができ、異文化に対する理解を深めることができました。特に印象に残っているのはライブミュージックの都と言われる 6thstreet の路上においてギターの演奏をしたことです。何気なく私たちが street を歩いていると一人の女性シンガーが路上ライブを行っていました。私たちはその音楽に耳を傾けながらタコス屋に入り夕食をとりました。私はビールとタコス堪能した後、妙な勢いで背中を押され、その女性シンガーに声をかけ、1、2 曲弾かせていただくことになりました。このようなチャンスは滅多にない経験だと価値を見出し、積極的に英語で話しかけ人前でギターを演奏しました。とうの歌と演奏は酔いも交じり、とても素晴らしいものとは言えませんでした。このような経験をしたことに価値があり、積極的に人前に出るハードルを下げることでできたように感じました。この頃、私は歳を取るたびに人前に出ることが恥ずかしくなっていました。人前で失敗することを恐れ、積極的に挑戦することを避けていました。しかし、このような経験のおかげで挑戦することのハードルの低さや失敗しても笑いにして仲間たちと笑い飛ばすことができるということに気が付き、なんだか不思議な自信が自分の中に沸き上がりました。幼いころに持っていたわくわくすることへがむしゃらに挑戦する行動力を久しぶりに思い出すことができました。

今回のプログラムでは cultural activity としてテキサスを肌で体感することができる様々なスポットを訪れることができました。特に私が興奮したのは NASA のジョンソン宇宙センターの見学です。私は幼いころより有人宇宙飛行という分野に関して興味があり、趣味程度の様々な情報を収集していました。その中でいつしか私の人生の夢がヒュ

ーストンにある、このジョンソン宇宙センターを訪れることでした。展示エリアでは現在進行中のアルテミス計画に関する事柄や ISS における生活について本場の英語で解説を聞くことができ、宇宙好きの私からすれば天国のような時間でした。トラムツアーで行った Astronaut Training Facility では ISS のモックアップを上から見学することができました。そこは実際に宇宙飛行士の方が ISS 内での緊急事態時の避難訓練の練習を行ったりする施設で、私は日本人宇宙飛行士の方がそこで訓練をする動画を YouTube で漁り続けていたので本当に興奮が収まりませんでした。日本に帰国した際に知ったのですが、私たちが見学した翌日に JAXA の油井亀美也宇宙飛行士がどのモックアップで実際に訓練をされていたという事実を知り、見たかったなという気持ちになりました。ISS のモックアップだけではなく月探査に向けたアルテミス計画で使用される予定の宇宙船オリオンやボーイング社が開発中の新型宇宙船スターライナー、火星探査で使用が検討されているローバーなどのモックアップなども併せて上から見学することができとても感動しました。高校 1 年生の時に NASA がスペース X 社のクルードラゴンかボーイング社のスターライナーのどちらかを使い、スペースシャトル引退以来のアメリカ独自の打ち上げを行い ISS に人を送るという発表を行い、そのニュースを YouTube の生中継で見て興奮したことを今でも鮮明に覚えています。そのスターライナーを眼前で見ることができ、言葉では言い表すことができない感動を覚えました。私の中学生からの夢を叶えていただき、本当にこの施設見学をプログラムに取り入れてくださった方には感謝しかありません。本当に幸せな時間でした。

このように私はプログラムを通して様々な学びを深めることができました。たったの 10 日間だけでも人は何かを学び自分の中に取り入れることができることがわかりました。留学前に掲げた目標に関して、起業家精神は十分に吸収することはできませんでしたが。英語の語学スキルや様々な物事に積極的にチャレンジするという行動力が少しは身についたのではと感じます。また、これから市役所へ復帰するか就活をするか進路ははっきりとはしていませんが人生の選択肢の視野が 10 日間で大きく広がりました。START プログラムは私たち学生の今後の挑戦の背中を押してくれる一歩目になると確信しました。

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

START プログラムは漠然と将来のことに悩んでいる人にとって多くの選択肢を発見させてくれるプログラムです。短い期間でも今まで気づくことができなかった自分自身の長所に気付くことができ、興味のある分野を発見することができる良い機会に必ずなります。また、やりたいことがはっきりしている人にとっても自分の専門性を深めることができる良い機会になります。日本にはないような最先端の研究を目の当たりにすることができ、多くの刺激を受けることができます。それに勉強に関することだけではなく、大学時代の良い思い出にもなります。留学にチャレンジするという小さな一歩が将来への大きな一歩に必ず繋がるのでワクワクすることにためらわず飛び込んでみてください。人生の財産ともなる素敵な友人にもたくさん出会うことができ、とても楽しい未来が待っています。